



会報

No.30

2013年5月24日発行

発行／日本コンプライアンス・オフィサー協会 発行責任者／菊池一男
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03) 3267-4826 ホームページ <http://jcoa.khk.co.jp/>

コンプライアンスの知識は常に更新を

物事の価値観が変化し、一層のグローバル化が進展するなかにおいて、コンプライアンスの知識は常に更新することが求められています。一度、習得したとしても、世の中の流れや変化を感じとって考えを新たにすることが求められる時代です。

そこで、ご参考までにコンプライアンス知識の更新ポイントを、法律と一般常識の観点から、例を挙げて考えてみたいと思います。

① 新法制定や法改正に対応できているか

新法制定はもちろんのこと、法改正には「社会からの要請」が反映されることが多々あります。金融分野においては、金融商品取引法や犯罪収益移転防止法の改正があります。これらは不祥事や国際的な組織犯罪等の防止の観点から、罰則強化や規制強化を盛り込んでいます。また、約100年ぶりの大改正が予定されている民法（債権法）については、日常生活や経済活動に深く関わる契約の締結やその理論等が現状にそぐわないものであることから、民法制定以来の社会・経済の変化への対応を図るべく条文の見直しが進められているところ です。

新法制定にいたっては、例えば消費者庁で進められている「食品表示法案」があります。既存の食品衛生法など、今までは縦割りの行政管轄で運用・監視されてきた食品の表示に関する規定を統合して包括的かつ一元的な制度を創設することが狙いです。

これら新法制定や法改正の趣旨を、都度理解しておきたいところです。

② 常識が非常識に変わっていないか

商慣習や商慣行において、問題がない、問題にならないと思っていたことが、法令やルール等に抵触することがあります。談合や差別対価、誤認表示等を防止するための独占禁止法等の法令やガイドラインがありますので確認しておきたいところです。また、著作権等を保護し侵害を防止する知的財産関連の法令も日頃から注意して、どこまでが法律上許されるかを確認することも大事です。

さらに、自分自身で常識として考えていたことが、社会における捉え方の変化等で非常識に変わっていることがあります。この非常識はともすれば、コンプライアンス違反になることもありますので注意が必要です。職場におけるセクハラやパワハラ、アルハラなどのハラスメント（嫌がらせ）が良い例かもしれません。あまり過度に意識しても人間関係がギクシャクし、コミュニケーションがかえってうまくいかないことがあります。職場環境を少しでも良くするためにも、十分配慮した言動が必要になってきます。研修サイドからも、今一度自身の常識を世の一般的な規範と照らし合わせ、疑ってみる作業が求められていると言えましょう。

「コンプライアンスの実践には終わりが無い」と、よく言われますが、コンプライアンス知識の更新もその実践において重要な要素になっているのです。

(日本コンプライアンス・オフィサー協会
事務局長 菊池一男)

〔表〕 J A コンプライアンス 3 級 業態別成績一覧表

	都・銀 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数(名)	0	3	0	0	6	3	1,575	0	8	0	0	179	1,774
応募比率(%)	0.00	0.17	0.00	0.00	0.34	0.17	88.78	0.00	0.45	0.00	0.00	10.09	100.00
受験者数(名)	0	2	0	0	5	2	1,511	0	7	0	0	170	1,697
受 験 率(%)	0.00	66.67	0.00	0.00	83.33	66.67	95.94	0.00	87.50	0.00	0.00	94.97	95.66
認定者数(名)	0	2	0	0	5	2	1,502	0	7	0	0	169	1,687
認 定 率(%)	0.00	100.00	0.00	0.00	100.00	100.00	99.40	0.00	100.00	0.00	0.00	99.41	99.41
平 均 点(点)	0.00	88.00	0.00	0.00	88.40	74.00	83.47	0.00	88.29	0.00	0.00	85.27	83.68
年 齢(歳)	0.0	26.0	0.0	0.0	43.4	25.0	39.7	0.0	42.3	0.0	0.0	41.7	39.9
勤続年数(年)	0.0	2.5	0.0	0.0	20.8	6.0	16.0	0.0	18.4	0.0	0.0	18.6	16.2

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

コンプライアンス・オフィサー認定試験 成績結果

去る3月3日(日)に実施いたしました第28回コンプライアンス・オフィサー認定試験の成績結果がまとまりましたのでご報告いたします。

● J A コンプライアンス 3 級

成績結果は、〔表〕のとおりです。

応募者数1,774名中受験者は1,697名で、認定者は1,687名でした。認定率は99.41%、平均点は83.68点と、たいへん良好な成績結果となりました。

正答率が60%を超える問題が47問もあり、初めて実施される試験ということで、受験者が事前に

しっかりと学習された結果かと思われます。また、平均年齢が39.9歳、平均勤続年数が16.2歳と、事務局が想定しておりました層よりも、かなり上位の層の受験者が多く、実務に精通している受験者が多かったことも、認定率を押し上げた要因の1つと考えられます。

正答率が30%を下回った問題は、〔問-3〕情報セキュリティ管理、〔問-45〕J A S法(表示)、〔問-48〕振り込め詐欺の3問でした。

全体的には、事務局が想定していたものよりかなり高い平均点となり、受験者のレベルの高さを感じました。

〔2013年10月実施〕コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実 施 日	願書受付期間	実 施 種 目	出題形式	実施時間	受験料
第30回 2013年 10月27日(日)	2013年 8月19日(月) ~9月9日(月) 必 着	金融コンプライアンス・ オフィサー1級	事例付記述式	13:30~16:30 (180分)	6,300円 (税込)
		金融コンプライアンス・ オフィサー2級	四 答 択 一 式	10:00~12:30 (150分)	4,200円 (税込)
		保険コンプライアンス・ オフィサー2級			